

【事務局長談話】

イスラエルとハマスは武力行使を直ちにやめよ！

国際社会と日本政府は暴力の連鎖を食い止めるために全力を尽くせ！

2023年10月30日

子どもと教科書全国ネット21 事務局長 鈴木敏夫
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-9 望月第二ビル 2F

電話：03-3265-7606／E-mail：ukyokasho21@a.email.ne.jp

パレスチナ自治政府の統治下にあるガザ地区を実効支配するハマスが10月7日、イスラエルに対する数千発のロケット弾による無差別攻撃と地上戦闘を開始し、1,400人を超す死者と多数の負傷者を生み出した。さらに200人を超えるイスラエル市民や外国人を連行した（イスラエル政府報道官）。これに対し、イスラエルはガザ地区に報復爆撃などを行い、保健当局によれば27日現在で、7,300人以上が犠牲となり、うち女性が約1,800人、子どもは3,000人を越えている。さらにイスラエルは、ライフラインや民間施設などへの攻撃を行っている。一般市民の難民状態は深刻化し、新生児、負傷者などを収容する病院の多くは、爆撃と燃料不足で、機能不全に陥ろうとしている。国際世論を無視し、大規模な爆撃をつづけ、さらに多数の一般市民・子どもの犠牲を出しかねない地上侵攻をイスラエルは「地上軍の活動拡大」と称して事実上開始している。

私たち子どもと教科書全国ネット21は、とりわけ何の罪もない子どもたちが犠牲になっていることに心を痛め、この蛮行に強く抗議する。

ハマスの無差別攻撃と民間人連行は、いかなる理由があっても許されない国際人道法違反の行為である。同時に、イスラエルによるハマスをはるかに上回る無差別攻撃やガザ地区の封鎖は、国際人道法に違反する行為であり、断じて許されない。

私たちは、イスラエル、ハマスの双方に対し、国連総会で27日可決された決議の「人道的休戦」による武力行使の停止、人質の解放を求める。また暴力による報復の連鎖を断ち切るよう求める。関係国は軍事支援ではなく、武力行使を止めさせる努力をするべきである。

今回の問題の根底には、国連のグテーレス事務総長が「イスラム組織ハマスによる攻撃は何もないところから突然起きたわけで（はなく）」と指摘するように、イスラエルが国連諸決議に反してパレスチナを占領して入植地拡大を続け、ガザ地区には封鎖と空爆や侵攻をくり返してきたという事実がある。

子どもと教科書全国ネット21は、武力行使の両当事者に対してはもちろん、日本政府および国連・国際社会に対し、ガザ地区とイスラエルの人々の命、とりわけ子どもたちの命を守ること、そのために武力行使を直ちに中止させ、暴力の連鎖を食い止めることを強く求める。そして日本のすべての市民、子どもたちとともに、戦争をなくし命を救うための話し合いと行動を起こすことを呼びかける。